

LIVING

リビング
名古屋
みなみ新都心

発行 名古屋リビング新聞社

無料 土曜日発行(木・金配付)

News

ニュース

ベンチャー企業にも注目してほしい!

病気の未然予防の鍵を握る情報技術革新



IT界をリードする楽天トップの三木谷浩史さんや国立長寿医療健康センターの鳥羽研二理事長など、10人近くの代表者と鋭いトークを展開。現実味を強くアピールする片山参院議員の目は真剣そのものです

情報社会を支えるICT(情報通信技術)。人の手を離れてインターネット機能でモノとモノがつながり、社会を支えるIoT[Internet of Things(インターネット・オブ・シングスの略)]に目を付けるのが、参院議員の片山さつきさん。全国を行脚しながら、日本らしいモノづくり開発力の高さを武器に、新たなビジネスモデルを生む可能性を検証し、さまざまな機会をつなぐ役割を積極的

に買って出ます。「地方創生」を通して、新たなブランド力確立を先導するキーマンとして、厚い支持層を築く東海エリアを拠点にしようというのが、病気予防に目を向けるICT開発。片山参院議員自らが提唱者となり、名古屋大学や企業と「IOHH(インターネット・オブ・ヒューマン・ヘルス)」と名付け、実現を目指す流れに。「超高齢化を前向きにとらえれば、病気予防

にまつわるあらゆる開発・技術は立派なビジネスになります。インターネットの場合、たとえばネットの場合、たとえば「企業規模や実績が求められることはない!」の意味)、東京に拠点がないと悲観することはありません。モノづくりを売りにさらに企業集積が期待できる東海エリアだからこそ、IOHH先進地にふさわしい」と片山参院議員は見ているよう。

片山参院議員らしい広い人脈を生かし、みなが長寿で「1億総活躍社会」を形づくること、各界のキーパーソンと話を繰り広げる新書「未病革命



地方創生を通じた日本の発展絵図を描く石破茂・地方創生担当大臣にも可能性の大きさを説明

誰もが願う健康、これを掘り起こせば、国内総生産600兆円に近く予感!

安倍総理が打ち出し、スタートした「1億総活躍社会」。無理やり感が押し出される印象です。私たちの健康維持に焦点を当てる片山さんの発想は、ごく自然なのがいいですね!



記者の目

2030(日経BPS社)が発売中。片山参院議員らしい先を見通す目をキャッチできる内容が詰まっているので、チェックしてみてください。
http://www.satsuki-katayama.com/